

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり 1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。
URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

Ichika 会報

2008/10
第42号

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係
大阪市港区市岡元町 2-12-12 TEL/FAX:06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 市岡日本語教室
● 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
● 日時 毎週金曜日午後7時から8時半
● ボランティア、学習者、募集中
● 見学随時、予約不要
e-mail: Ichika_nihongo@hotmail.com

七夕まつり 今年も賑やかに



七夕イベントの舞台裏

イベント係 大城二三子

7月4日(金)、今年も七夕イベントが催されました。学習者と一緒に笹飾りの作成、浴衣の体験の二本立てです。

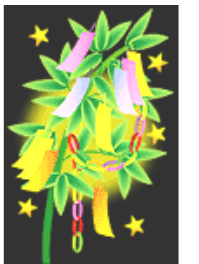
恒例とは言え準備は毎年大変です。会場のセッティング、笹飾りに使う笹、折り紙や短冊、ペンなど道具の準備。浴衣の体験も、事前に体験希望の学習者、着付けボランティアの募集、浴衣や帯の借受け、全体の進行を考え、進行表を作成し、司会者との打ち合わせなど、細かいことまでは書ききれませんが、事前にやらなければいけないことがたくさんあります。こんな事ばかり書くとう人もいるかもしれませんが、私かなぜイベント係をやっているのか、それは単なる偶然からではなく、以前、ボランティア全員が何かの係に入るルールだった時代、残業で欠席ばかりしていました。係の決め方は、本人に第2希望まで聞き、割り当てていく方法です。私はその編成時に間に合わず、新学期が始まってしまいました。久しぶりに教室へ行き、教務係に「私、まだ係が決まっていないんです」と申し出たら、「じゃイベント係でいい？」で、今に至ります。その前年度まで他の係にいたのですが、ほとんど活動がなく、ミーティングの音が掛かった時だけ集まる程度でした。イベント係に入ってビックリ！数ヶ月前から、次のイベントに向けての企画会議。初めは要領を得ず、発言もできなかったのですが、先輩方を見本に手伝いから始めました。自分達で企画し、準備してイベントを催していくことが、どんどん楽しくなってきました。

恒例の七夕まつりが、今年も賑やかに開催されました。市岡の数あるイベントの中でも、毎年確実に実施されているのは、この七夕まつりくらいではないでしょうか。何年目になるのか、ご存知の方がおられましたら、編集係までお教えください。今号では、このイベントを支えている市岡の名物イベント係、大城さんによる舞台裏を書いていただきました。また、イベント中にお話していただいている五味さんの七夕伝説のお話を採録しました。

イベント当日になって予定がキャンセルになりアタフタしたり、意外に参加者が少なく盛り上がりなかつたり、とイベントには失敗もつき物です。イベントは、普段の学習ではできない交流をするのを目的にしています。目的を忘れず、失敗を恐れず、アイデアとやり方を考えれば可能性は無限に広がります。今年の七夕イベントも多くの方々の協力のお陰で、無事終えることができました。汗だくになりながら、何人もの学習者に浴衣を着付けてくれた方々、やぶ蚊と戦いながら笹を切り出してくれた方々、七夕伝説の資料を集めてくれた方々、何より、学習者が楽しんでくれるよう、そばで一緒に折り紙や笹飾りを作ってくれた皆さんが素晴らしいイベント係のメンバーです。今後も皆さんの声に耳を傾け、アイデアをひねり、イベントを催していきたいと思えます。学習者だけでなく、ボランティアにとってもいい思い出の一つになれば嬉しいです。

夢とロマンの物語

七夕伝説の生まれた地のこと
3班 五味久美



わたしは昨年度、「七夕の日、織姫と彦星が出会うまち」を「ひらかた」を紹介いたしました。生駒の森を源流として、全長約15kmの天野川は、かつて川砂が白く光って見え、宇宙の銀河を思わせることから名づけられたという。平安時代、天野川流域の枚方市・交野市一帯は交野ヶ原と呼ばれ、貴族の狩り場として知られており、天野川に架かる橋の名にも「逢合橋」「織姫と彦星の待ち合わせ場所」、かささぎ橋、雨の七夕にカササギが羽を広げて橋渡しをしたことから、天津橋、天の川にかかる橋」と、七夕にまつわるものが数多く見られるのです。全国七夕サミットの開かれた7日、牽牛石のある観音山公園には、市民グループ「天の川星まつり」の会が、「牽牛石像」と「七夕歌碑」を建立したのです。教育の現場におりました私は、子どもたちにふるさと枚方のすばらしい歴史を知ってほしいと願い、枚方市伝承文化保存懇話会の方々が発行された冊子「ひらかた昔ばなし」子ども編や総集編を十分に活用させていただきました。そして、今年、天の川を中心に、星や七夕にまつわる古くからの伝説と実物が、これほど集中していまに生きている地方は他に見当たらない。「交野が原浪漫」に接し、よく知らない「星のまち交野」のことを探りたいと思ったのでした。歩いて、自分の目で確かめたかった。

星田の八丁三所に「降星伝説」・・・これは獅子窟寺記などによると平安初期に弘法大師が獅子窟寺の宝窟にこもり修行して、七曜の星「北斗七星」

★ 日本語能力試験

合格をめざして★

今年も12月7日に日本語能力試験が実施されます。市岡からも多くの学習者が受験します。そのうちのおひとりから、抱負を語っていただきました。

『1級試験を合格したい!』

6班 バーバラ



私は十五年前日本に来ました。最初の半年半英語を教えたので日本語を勉強することがちよっと難しかった。まだそんなに上手にならなかつたけど諦めない。アメリカに亀とウサギとの競走について昔話があります。1級試験を受けようとするには私がその亀と似てると思います。Y.M.C.A.のクラスメートはウサギちゃんのようなスピードで皆さんもう1級試験をだいぶ前合格しました。諦めないで亀と同じようにゆっくり私が勉強し続けてもう一回1級試験を受けます。速さではなくて日本語をしっかり分かった方が大事だと思います。

一般的に言うところ外国語を習う場合は現地で勉強したら上手になれますが日本語の場合はそうではなかった。多くの人は英語を練習したいから日本語を話す機会が少なかつたんです。だからこの学校「ひらかた日本語クラス」の先生達のおかげでありがたいことがあります。ほかの難しいことは漢字を読めること一字が多いし読み方多いしとても覚えにくいです。覚えるための時間がかかりました。

今年1級試験を合格可能性がひくいと思えますけど亀と同じようにゆっくり動いても前向き見て来年の試験でも合格したら嬉しいです。合格したらこの学校の先生と今まで日本語を教えてくれた先生のおかげです。

が降り、三つに分かれて地上に落ちた。その一つが星田妙見宮の山頂拝殿奥に見える大岩(織女石)であり、星田集落の中にある降星山光林寺の本殿左奥の大岩、さらに星田傍示川傍の星の森宮にある岩である。以来これらの石を影向石(ようこうせき)として祀るようになったという。この3ヶ所を結んだ一辺が約八丁(900m)あり、ここから八丁三所と呼ばれているそうだ。

他、生駒山系周辺ある、星辰信仰に関係した巨石をお祀りする風習についても調べていきたいと思っています。

ジャックの 玩菓
ジャック製菓株式会社
代表取締役 中野 幹
〒577-0809 大阪府東大阪市永和3丁目1-26
TEL:06-6721-0269 FAX:06-6721-0467